

14. 同志社大学

The screenshot shows a web browser window displaying the Learning Commons page of Doshisha University. The browser's address bar shows the URL www.doshisha.ac.jp/research/lc/lc.html. The page header includes the university logo and name, navigation menus for various university departments, and a search bar. A main banner features a photograph of students in a laboratory setting. Below the banner, a sidebar on the left contains a vertical menu with links to various university services. The main content area is titled "ラーニング・コモンズ" (Learning Commons) and features a section for "アカデミックスキルセミナー開催のお知らせ" (Academic Skills Seminar Announcement), which includes text about an autumn seminar and a small flyer image. At the bottom of the page, there is a large image of a glass wall with the words "Learning Commons" printed on it.

同志社大学
Doshisha University

大学紹介 | 学部・大学院 | 研究・教育・図書館 | 学生生活 | 国際交流・留学 | キャリア・就職支援 | 産官学民・地域連携

同志社大学を知りたい方へ | 同志社大学で学びたい方へ | 卒業生の方へ | 保護者の方へ | 企業の方へ

同志社大学の研究・教育・図書館
ラーニング・コモンズ

同志社大学ホーム > 研究・教育・図書館 > ラーニング・コモンズ

- 研究・教育・図書館トップ
- 図書館
- ラーニング・コモンズ
- 研究所・センター
- 研究開発推進機構
- 高等研究教育機構
- 倫理審査室
- 検索・閲覧システム一覧
- 研究者情報

ラーニング・コモンズ

アカデミックスキルセミナー開催のお知らせ

秋学期のアカデミックスキルセミナーをラーニング・コモンズで開催します。
本学学生を対象として、レジユムの作り方やアイデアの拡張法など、さまざまなセミナーを予定していますので、ぜひご参加ください。

※詳細は [講演会・セミナー・イベント](#) のページをご確認ください。



スライド 1



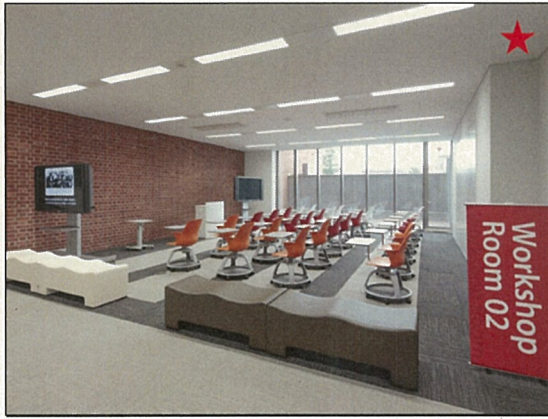
スライド 2



スライド 3



スライド 4



スライド 5



スライド 6



スライド 7



スライド 8



スライド 9



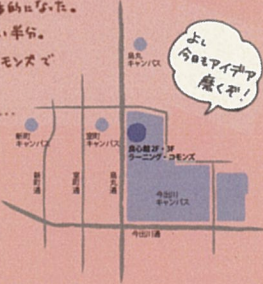
スライド
10



スライド
11



ボクは
あの日みんなとしゃべって しゃべって。
「リョウ」に話せば
「ええ! あもろい!」とのせらべて
ネット調べながらプロジェクト計画書にした。
ツレの「ヨシ」と「リカ」もまきこみと
話がどんどん具体的にふた。
楽しい半分、しんじい半分。
あはは ラーニング・commonsで
いよいよ本番。
みんな喜ぶかな...
ドキドキ!!



ラ目こ知
ーをこ識
ニさでは
ンますは
グす。
・コ
モ
ン
ズ
。



発行 | 同志社大学 学習支援・教育開発センター
〒602-8580 京都市上京区今出川議員九条入
TEL: 075-251-3277 FAX: 075-251-3025
監修 | パナソニックシステムネットワークス株式会社
株式会社内田洋行

ラーニング・commonsの利用に関する問い合わせ先
(インフォメーションカウンター)
TEL: 075-251-3895, 3896 FAX: 075-251-3988
URL: <http://www.doshisha.ac.jp/research/lc.html>

201303-30000



第1章 ラーニング・commonsの考え方

アイデアを形に変えていく。それがエキサイティング。

良心館のラーニング・commonsは、情報を知識に、知識を創造に変えていく「新しい学びの広場」です。さまざまなヒト・モノ・コト・情報と出会い、それらを仲間とともに議論し展開していくことで、新しい学びの可能性を生み出していきます。

アイデアだけでは... もりあがって、おしまい。
理屈が走りすぎると... 話がつまらなくなる。



人はコミュニケーションを繰り返すうちに
アイデアは鍛えられ、理屈がちゃんと通っていく。

良心館のラーニング・commonsはおよそ2,550㎡に「ひらめき」を「実現」に変えていくさまざまな装置を配置した学習空間です。自分の中に眠っている発想力、構想力、実現力までここで目覚めさせてみませんか! もちろんさまざまな人向けサポートもついています。

1. 出会う
Socialization (共同化)
机に向かってする勉強だけでなく、ぶらぶら歩く、ネットサーフィンをする、ポスターを見る...。暮らしの中でさまざまな情報との出会いを蓄積しておくだけで、新しい知識、アイデアと出会うことができます。まずはラーニング・commonsへ出てみましょう。

2. 話す
Externalization (表出化)
アイデアは進めることも重要だけでなく、誰かに話して意見を聞くことも大事です。仲間とリラックスしてしゃべるうちに、意見が真実を呼び、新しいアイデアに結びついていきます。壁の中から外へ出すこと、創造の第一歩です。

3F.リサーチ・commons

コンセプトは「アカデミックスキル育成空間」
さまざまなアイデアを組み合わせ、得意に決まりやすくてメッセージとして伝えていくスキルを育成します。



2F.クリエイティブ・commons

コンセプトは「学びの交流と相互啓発」
ヒト・モノ・コト・情報との出会いによるクリエイティブな刺激を生み出します。



3.まとめる

Combination (連結化)

アイデアには理屈も必要です。アイデアと理屈のバランスをよくするためには客観性が欠かせません。コミュニケーションを繰り返すうちに思いつきがロジカルになり、企画としての説得力が生まれます。



4.やってみる

Internalization (内面化)

最後は実践です。考えたり、計画書を作っても最後の実行が伴わないとせっかくの努力も中途半端。やってみることが重要。失敗を恐れず、ただし失敗をしないよう準備をして実行することで、大きな自信が生まれます。



同志社大学のラーニング・commonsは
良心館2,3階 約2,550㎡
国内大学の中で最大級です。

丸い空間に仕掛けがいろいろ。プレゼンテーションコート。

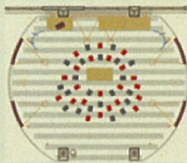
ラーニング・コモンズの各エリアの一部をのぞいてほとんどが間仕切りのないフレキシブルかつオープンな空間です。その空間の中に利用者の想いをサポートできるようなパソコンはもちろんプロジェクター、スクリーン、電子黒板など多様な最新情報機器が配置されています。何が出来るのかではなく、何をしたいのかで使い方が決まります。例えば、このプレゼンテーションコートの使い方にヒントがあります。

■設備: プロジェクター 6台、120型ワイド×2面スクリーン、天井取付HDカメラ2台、録画機、マイク、スピーカー、TV会議設備ほか

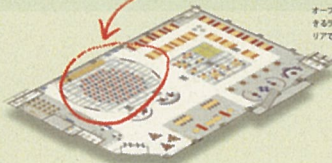


タイプA. 気軽なトークセッション

企画にあわせてセッティングが変更されるフリースペース仕様。ステージも、スクリーンも、シートセッティングもアイデア次第。



丸い空間を活かしてステージを様々なセッティングが可能です。椅子を使用しない形式的セミナーもOK。



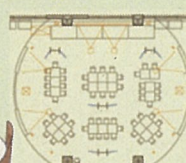
オープンかつフレキシブルな使い方ができるラーニング・コモンズの空間エリアです。参加者にももちろん利用の人も巻き込みながらユニークなイベント開催が可能です。



みんなここで話そうよ!

タイプB. 分割使用でワークショップ

分割使用もOK。ワークショップなどでもセミナースペースと作業スペースに分けて使える便利です。もちろん半分だけの分割使用もOK。



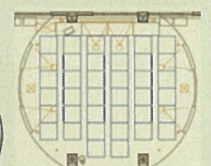
天井のフレームには照明器具が設置されており、2分割、3分割、4分割など、内容に応じて仕切ることができます。



ここは議論の場か!

タイプC. パネルを使ってポスターセッション

椅子を置かない空間仕様で、天井からパネルをセットしてポスターセッションや展示会場に早変わり。



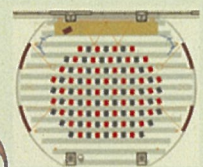
天井の格子状フレームを使って、ポスターなどを貼って使用する作り込み。手動又は、ポスターセッション専用機械がおすすめです。



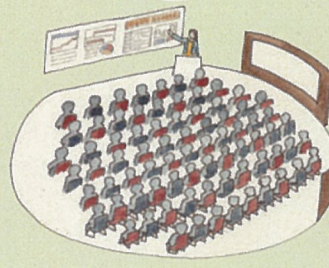
反応があるからいいね!

タイプD. 全面使用で講演会

マルチスクリーンを使って、オーソドックスなプレゼンテーションやイベントもできる。100名まで可能。



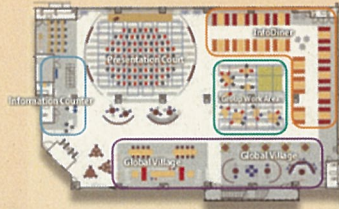
6台のプロジェクターを調整して統一の画像、あるいは独立させて別々の内容を映写するなど、必要に応じて設定可能です。



本物のプレゼンに感動!!

人、機会、アイデア、仲間...いろいろなものとの出会いが生まれる。

2階のコンセプトは「学びの交流と相互啓発」。プレゼンテーションコートの他、大きくは3つのエリアで構成されています。国際交流の接点を創る「グローバルビレッジ」、仲間とリラックスした打ち合わせができる「インフォダイナー」、グループで手軽に催しができる「グループワークエリア」などです。ここは交流によって触発され、新しいフィールドへ踏み込んでいく入口となります。

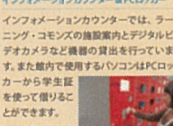


●仲間とリラックスした打ち合わせができる「インフォダイナー」

手帳やプロジェクターと自販機が使えるボックス。短焦点のプロジェクターと自販機のあるファミリーレストラン風ボックス。壁に画像を映しながら、白板に書き込めるデジタルなアナログのボードで、アイデアはどんな形になっています。プロジェクターの代わりに、プラズマディスプレイを備えたボックスもありません。



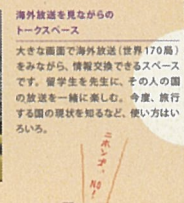
●エントランス(2F)



インフォメーションカウンター&PCカウンター
インフォメーションカウンターでは、ラーニング・コモンズの施設案内とデジタルビデオカメラなど機器の貸出を行っています。また館内で使用するPCはPCロッカーから学生証を使って借りることができます。

●多文化交流の接点となる「グローバルビレッジ」

海外放送を見ながらのトークスペース。大きな画面で海外放送(世界170局)をみながら、情報交換できるスペースです。留学生を先生に、その人の国の放送を一緒に楽しむ。今度、旅行する国の現状を知るなど、使い方はいろいろ。



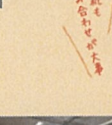
●グループで手軽に催しができる「グループワークエリア」



小さいパフォーマンス
屋型の台座は、寄せれば8畳の間、中を抜いて机を入れれば盛りだくさん、バラして並べれば椅子...留学生向けの生け花やお茶の賞賞、踊りのステージとしても使えます。日本の文化を知ってもらいましょう。



机を組み合わせる



グループで作業をする
グループでブレインストーミングをする。3~4名ずつのグループをつくり分業作業をする。机に大きな用紙を広げて作業をするなど、机を組み合わせるさまざまなグループワークに便利です。

World Cafe, Brown Bag Talk
人数に合わせて机や椅子を寄せて、お茶を飲みながらのセミナーに最適です。ワールドカフェ、サイエンスカフェなど、「学習」というより「楽習」空間として使えます。

気軽に留学相談
留学に関する豊富な知識をもった留学コーディネーターが、皆さんの疑問・質問や不安に対して適切なアドバイスを行います。まずは気軽に声をかけてみませんか?

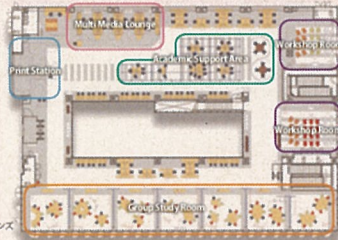


ハイカウンターテーブルや大型テーブルに合い、心の距離を越えてみる
同志社大学に在籍する留学生と日本の学生の出会いを生み出す空間です。仕切りがなく、通路に面したハイカウンターで、リラックスした気分での国際交流が楽しめます。(日本語禁止)



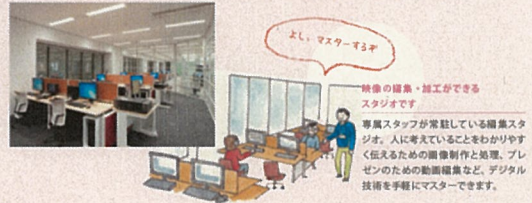
知的探究にトライしてみよう。そのための技術を磨く。

3階のコンセプトは「アカデミックスキルの育成空間」。このフロアは専門担当者のサポートを受けながら実践的なスキルを身につける空間です。「アカデミックサポートエリア」、「グループスタディールーム」、「ワークショップルーム」、「マルチメディアラウンジ」、「学習検索エリア」、「プリントステーション」など6つのエリアからなり、自分で考え、自分で実践する知的探究が体験できます。



3F.リサーチ・commons

●最新機器を備えた編集スタジオ。「マルチメディアラウンジ」



映像の編集・加工ができるスタジオです

専属スタッフが常駐している編集スタジオ。人に考えていることをわかりやすく伝えるための動画制作と加工、プレゼンのための動画編集など、デジタル技術を手軽にマスターできます。

●あなたの好奇心をサポートします。「アカデミックサポートエリア」



個人をチュータリング

ラーニング・commonsにはさまざまなインストラクターやチューター（指導員）が常駐しています。発想法や考え方のためのライティング、人に伝えるプレゼンやコミュニケーション、資料の見つけ方などを相談しながらサポートします。



グループをチュータリング

グループワークの過程で生まれてくるさまざまな技術的、実践的な問題に対して、専門的な視点からチュータリングします。壁にぶつかったら、まずアカデミックサポートへ。

●大判のポスターも出力OK。「プリントステーション」



●学習・検索エリア



内容が決まったら出力して確かめる
計画書や戦略チャートといった書類のコピーはもちろん、ポスターセッション用の大判ポスターも出力できます。



※印刷に要する費用は有料です。

●アカデミックスキルを実践的に学べる。「ワークショップルーム」



クローズドタイプとオープンタイプ

ワークショップルームは、透明ガラスで仕切ったスタジオ仕様のクローズドタイプと外先の入居開放的なオープンタイプがあります。どちらも自分で学んでいくための基本的なアカデミックスキルの講習会などが開催されます。



スクリーンを移動できる



録音スタジオとして使えるクローズドタイプ

HDカメラや各種マイクを使用した収録ができ、クロマキーなどのエフェクト機能も使えます。

●収録機HDカメラ2台（リモート型1台、ポーター型1台）、SDカード、BDへの録画が可能

●机も椅子も自由に動かして、「グループスタディールーム」



グループの力をここで集約

7つのルームはストリングカーテンを開けると、広い空間としても使えます。少人数からちょっと大きなグループまでさまざまな使い方ができます。テーマをみんなで作りたい、グループの知恵を集約したいなど。ホワイトボード、電子黒板などが使えます。



全部ある。問題ばばらや！



●可動式の机で、組み合わせはいろいろ工夫次第。机配置パターン例

せっかくの大学生生活。どんどん教わらないと！

学生の特権のひとつは、「わからないことをおっぴらに聞くことができること」。しかもまわりに、聞ける人がいっぱいいることです。これはすばらしいことです。ここラーニング・commonsは「聞く」→「わかる」→「次へ進む」ことができる理想的な空間。サポートスタッフにどんどん聞いて、自分をバージョンアップしましょう。

●学術論文を読み解く、何かコツありませんか？

学術論文をどう読み解いていくか。読み方、理解の仕方、論議のつかみ方など、合理的かつ実践的な資料の読み方を伝授します。

アカデミック・インストラクター
ライティング・インストラクター

●レポートの書き方が分からない。

レポートは知っておくべき基本的な書き方があります。構成の仕方、立て、タイトル、図やグラフの効果的な使い方など、実践的なレポート作成法を伝授します。

アカデミック・インストラクター
ライティング・インストラクター

●プレゼンって、どうやればいいの？

プレゼンテーションは、発表する能力と資料を整理する能力が決まります。内容に自信があれば、発表そのものもうまく行きます。両面からサポートします。

アカデミック・インストラクター
プレゼンテーション・インストラクター

●発表のリハーサル、誰か見て意見をくれないかな？

プレゼンは事前にリハーサルすることで自信が持てます。プロジェクトの取組や発表準備のタイムスケジュールなども伝授します。ご相談ください。

アカデミック・インストラクター
ラーニング・アシスタント

●ゼミで文集を作りたい、研究会のチラシを印刷したい。

デジタル化が進んでも手元にある紙媒体はやはり便利です。フリーのソフトウェアで作成したものをラーニング・commons内で印刷・製本（有料）できます。

プリントステーション

●電子黒板ってどんなものか使ってみよう。

教育実習の前にも最新の機器について知っておくことも大事です。パソコンやプロジェクターはもちろん電子黒板も体験しておきましょう。

学習支援コーディネーター

●誰かを呼んで勉強会がワールドカフェをやろうよ。

勉強は楽しみながらできた方が身につきます。自主ゼミや先生を招いてのワールドカフェ（トーク会）の準備の仕方なども相談のります。

アカデミック・インストラクター

●自分の語学力を気軽に試してみよう。

ラーニング・commonsでは日本人学生と留学生の垣根はありません。お互い2Fのグローバルビレッジでリラックスした国際交流が行えます。

留学コーディネーター
留学アシスタント

●調査旅行で撮った映像を発表資料用に編集したいけど。

3Fのマルチメディアラウンジではデジタル編集や加工について専属スタッフの指導が受けられます。



マルチメディアラウンジ編集スタッフ

●今後の学習の進め方を相談したい。

大学は良学習が基本です。自分は何が学びたいのか、どういう方向へ進みたいのか...学習の仕方を相談できます。



ラーニング・アシスタント

●気軽に留学について聞いてみたい。

2Fに入ってすぐに留学相談のエリアを設けています。いつでも気軽に声をかけてご相談ください。

留学コーディネーター
留学アシスタント

よし、このテーマで調べよう。でも資料をどうしよう。

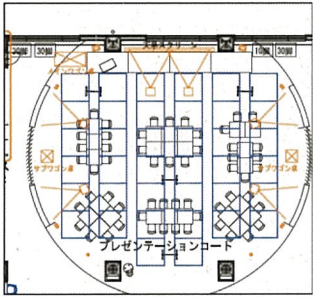
インターネットには膨大なデータがあります。しかし本当に役立つ資料は図書館などの書籍の中にあります。それをどうやって探すか、資料さがしをお手伝いします。

情報検索アシスタント



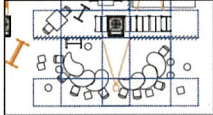
みんなをサポートするラーニング・commonsのサポートスタッフです。フランクにどうぞ！

プレゼンテーションコート
テーブル・チェア レイアウトパターン

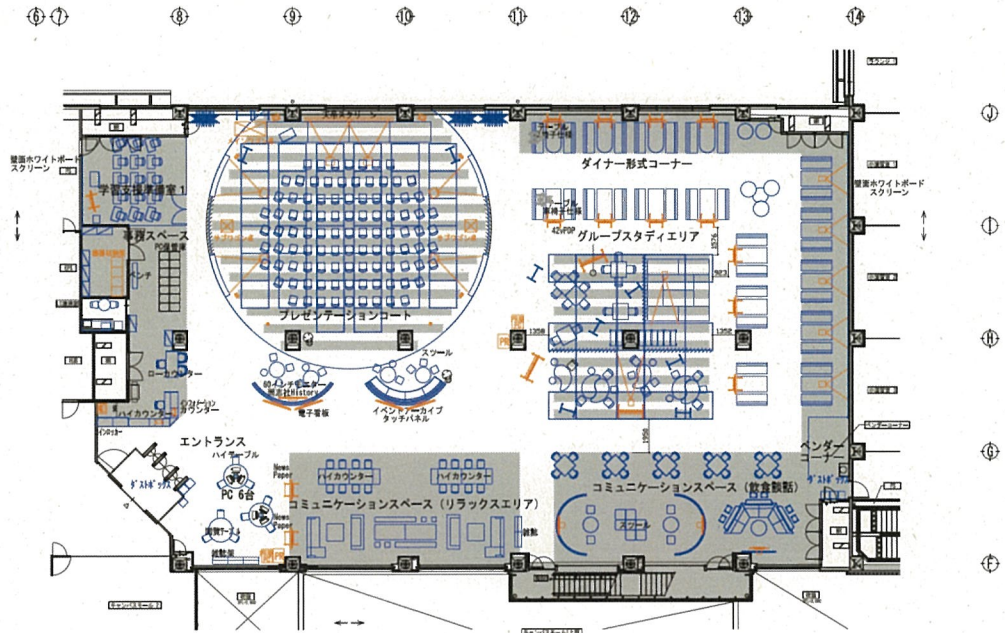


図示家具数量は
右配図面と同数とする

グループスタディエリア
テーブル・チェア レイアウトパターン



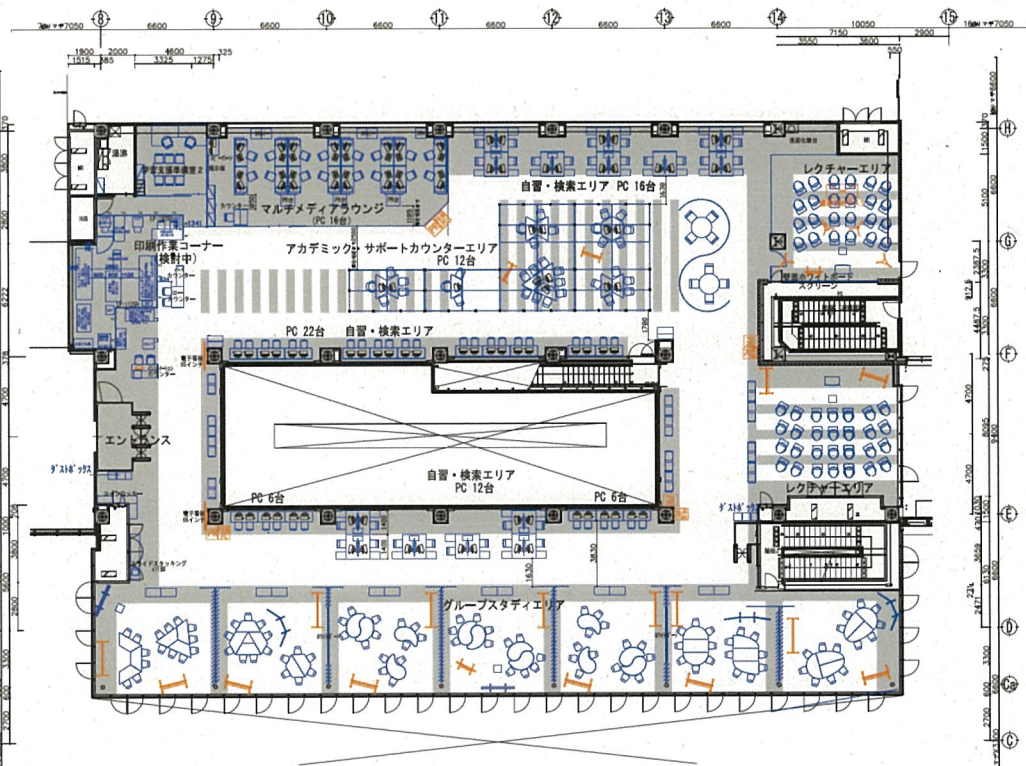
図示 パソコン台数 PR台数
2F 6台 2F 2台
3F 74台 3F 4台
合計 80台 合計 6台



⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

REVISION		UCHIDA YOKO CO., LTD. UCHIDA YOKO HEADQUARTER 4F 2-2-1001 NISHIKI, CHUOH-KU, TOKYO 100-8582	SCALE	1/200	CLIENT	同志社大学 様	DRAWING TITLE	今出川新棟 ラーニングcommons家具備品その他工事	2階家具レイアウト図
			DATE	2012/01/18	JOB NO.	8073-2492	DRAWING NO.		

パソコン台数 (別途) PR台数
2F 6台 2F 2台
3F 74台 3F 4台
合計 80台 合計 6台



⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

REVISION		UCHIDA YOKO CO., LTD. UCHIDA YOKO HEADQUARTER 4F 2-2-1001 NISHIKI, CHUOH-KU, TOKYO 100-8582	SCALE	1/200	CLIENT	同志社大学 様	DRAWING TITLE	今出川新棟 ラーニングcommons家具備品その他工事	3階家具レイアウト図
			DATE	2012/01/18	JOB NO.	8073-2492	DRAWING NO.		

同志社大学ラーニング・コモンズ利用要領（暫定版）

（趣旨）

第1条 同志社大学ラーニング・コモンズ（以下「ラーニング・コモンズ」という）は同志社大学学生の学習活動を支援するための施設であり、利用にあたっては、この要領の定めるところによる。

（利用目的）

第2条 ラーニング・コモンズの利用目的は、本条各号に定めるもので、授業外での学生の主体的学習活動、およびそれを支援する活動とする。

- （1） 個人またはグループによる学習
- （2） 学生を対象としたフォーラム、シンポジウム、パネルディスカッション、講演会等
- （3） 学生を対象とした学習スキル向上のためのセミナー、ワークショップ等
- （4） その他、教育支援機構長（以下「機構長」という）が認めた学習支援活動

（利用者）

第3条 ラーニング・コモンズを利用できる者は、本条各号のとおりとする。

- （1） 学部学生、学部交流学生、大学院学生、研究生、研修生、科目等履修生、聴講生、委託生、特別留学生、交換留学生、留学生別科生、特別学生、特別研究学生、司法試験準備生、女子大学単位互換履修生、関西4大学単位互換履修生
- （2） 同志社大学専任教職員、実験講師、任期付教員、特任教授、客員教員、専任フェロー、特定任用研究員、チェアプロフェッサー、嘱託講師、研究支援員、常勤嘱託職員、非常勤嘱託職員、契約職員、嘱託要員、アルバイト職員
- （3） その他、機構長が特に認めた者

（利用手続）

第4条 ラーニング・コモンズを利用する者は、提供サービスごとに定められた手続を経なければならない。

（開室時間）

第5条 ラーニング・コモンズの開室時間は、本条各号に定めるところとする。

- （1） 講義・試験期間の月曜日から土曜日は、9：00から22：00とする。
- （2） 日曜日、国民の祝日、休講期間等は、別に定める。

（禁止事項）

第6条 本条各号に定める行為は禁止する。機構長は、利用者が禁止行為を注意されたにもかかわらず中止しない場合は、退出を命ずることができる。

- （1） 学習活動に関わらない大声での会話および携帯電話による通話
- （2） 喫煙

- (3) ラーニング・コモンズにおける指定されたエリア以外での飲食
- (4) ゲーム類の持込み
- (5) 施設内での許可のない掲示
- (6) 各種勧誘活動
- (7) 周囲の学習の妨げとなる行為を行い、音、臭い、光等を発すること
- (8) その他、同志社大学の品位を貶める行為

(利用停止)

第7条 機構長は、この要領に違反し、あるいはラーニング・コモンズの運営に重大な支障を与えた者に対し、2週間の利用を停止することができる。

(施設の管理)

第8条 ラーニング・コモンズの運営管理は、学習支援・教育開発センターが行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、ラーニング・コモンズの利用に関する必要な事項は、機構長がこれを定める。

(事務)

第10条 この要領に関する事務は、学習支援・教育開発センター事務室の所管とする。

(改廃)

第11条 この要領の改廃は、教務主任連絡会議において決定する。

附 則

この要領は、2013年4月1日から施行する。

良心館ラーニング・commons 利用申請書

申込日： 年 月 日

同志社大学 教育支援機構長 様

同志社大学ラーニング・commons利用要領（暫定版）に則り、以下のとおり、良心館ラーニング・commonsの施設利用を申し込みます。

※太枠内をご記入ください。

申請者氏名			申請者所属 学部・研究科	
学生ID/社員番号				
申請者連絡先	電話		E-mail	
利用希望エリア	<input type="checkbox"/> プレゼンテーションコート [2F] <input type="checkbox"/> グループワークエリア (1・2(●)・3) [2F] <input type="checkbox"/> ワークショップルーム1 [3F] <input type="checkbox"/> ワークショップルーム2 [3F]			
利用目的	主催者、内容等を記載してください。授業外学習、および学習支援とのかかわりを具体的に説明してください。			
予定参加者数				
利用日時	年 月 日 () : ~ : * 同時に保持できる予約は1名につき3件までです。 * 利用時間は必要最小限をお願いします。			
備考				

※ 申請書は、利用日の一週間前までにラーニング・commons インフォメーションカウンターにご提出ください。

※ 貸出しの可否については、申請いただいた内容について教育支援機構にて確認のうえ、後日お知らせします。

同志社大学ラーニング・commons利用要領（暫定版） 抜粋

（利用目的）

第2条 ラーニング・commonsの利用目的は、本条各号に定めるもので、授業外での学生の主体的学習活動、およびそれを支援する活動とする。

- (1) 個人またはグループによる学習
- (2) 学生を対象としたフォーラム、シンポジウム、パネルディスカッション、講演会等
- (3) 学生を対象とした学習スキル向上のためのセミナー、ワークショップ等
- (4) その他、教育支援機構長（以下「機構長」という）が認めた学習支援活動

（利用者）

第3条 ラーニング・commonsを利用できる者は、本条各号のとおりとする。

- (1) 学部学生、学部交流学生、大学院学生、研究生、研修生、科目等履修生、聴講生、委託生、特別留学生、交換留学生、留学生別科生、特別学生、特別研究学生、司法試験準備生、女子大学単位互換履修生、関西4大学単位互換履修生
- (2) 同志社大学専任教職員、実験講師、任期付教員、特任教授、客員教員、専任フェロー、特定任用研究員、チニアプロフェッサー、嘱託講師、研究支援員、常勤嘱託職員、非常勤嘱託職員、契約職員、嘱託委員、アルバイト職員
- (3) その他、機構長が特に認めた者

学習支援・教育開発センター使用欄

- 貸出しの可否 (可 / 否)
 申請者への結果報告

施設貸出管理システム入力

- 仮予約入力 (済 / 未)
 仮予約 → 本予約
 仮予約取消

確認2	確認1	受付者